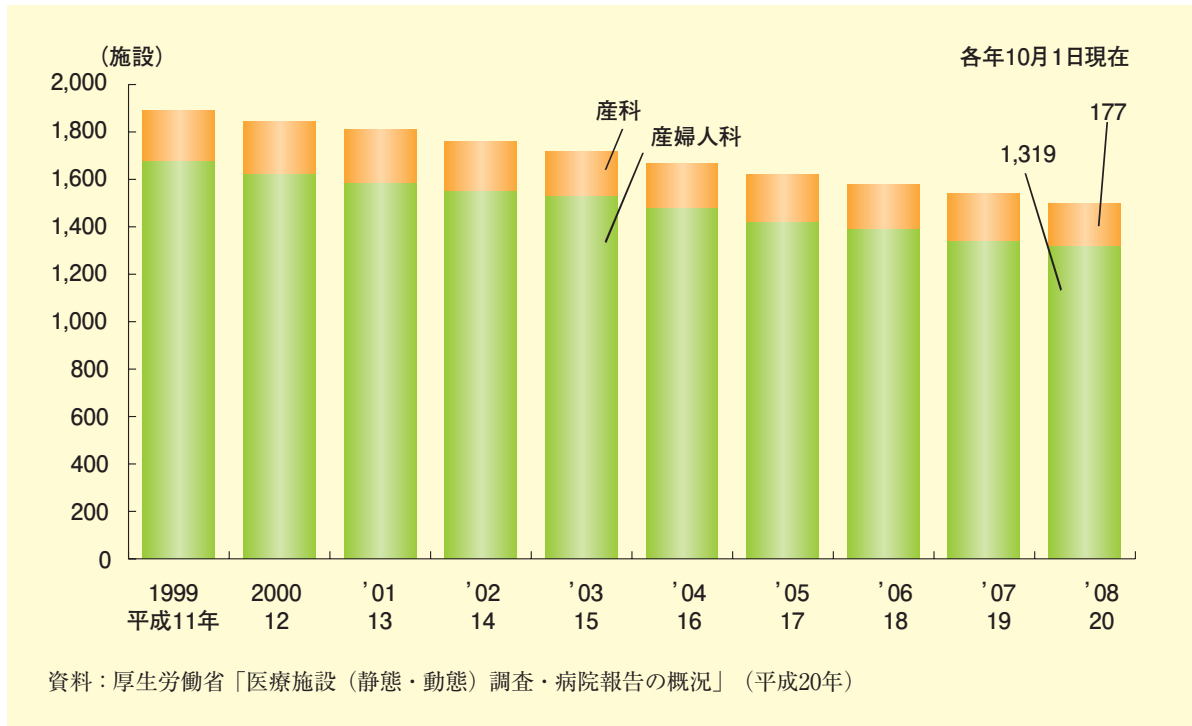


第1-1-17図 産婦人科、産科を標ぼうする一般病院数の年次推移



るところである。

(お産の場の減少)

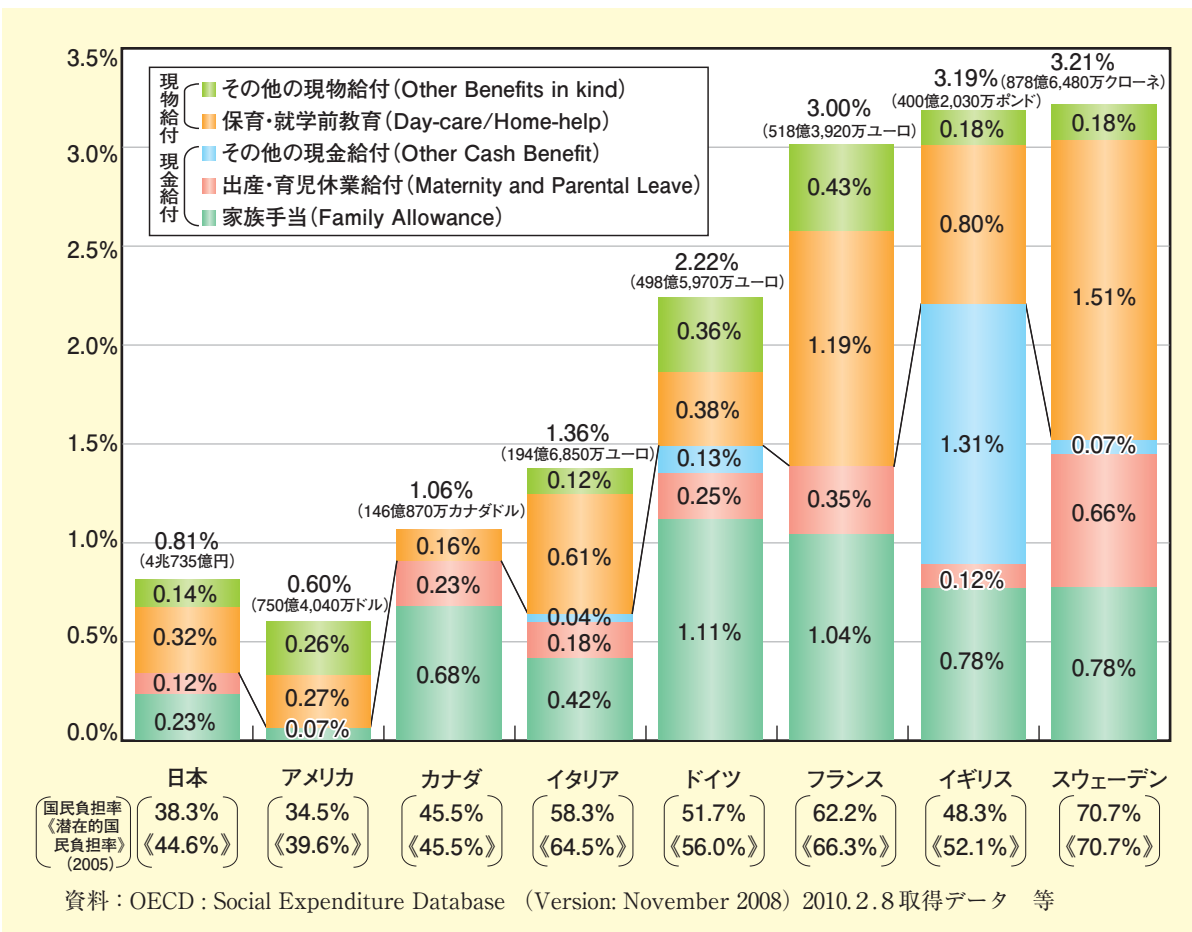
産婦人科及び産科医療施設の推移をみると、この10年間減少傾向にあり、身近なお産の場が減少していることがうかがえる。

4 家族関係社会支出の国際比較

我が国は、欧州諸国に比べて現金給付、現物給付を通じて家族政策全体の財政的な規模

が小さいことが指摘されている。家族関係社会支出の対GDP比をみると、我が国は0.81%（2005（平成17）年）となっており、フランスやスウェーデンなどの欧州諸国と比べて3分の1から4分の1となっている（第1-1-18図）。また、社会保障給付費に占める家族関係給付の割合をみると、我が国は4.2%（2005年）となっているのに対し、欧州諸国ではおおむね10%程度となっている（第1-1-19図）。

第1-1-18図 各国の家族関係社会支出の対GDP比の比較（2005年）



第1-1-19図 各国の社会保障給付費の構成比（2005年）

